



# のびゆく双葉



双葉小ホームページ

<https://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/futaba-e/>

絆ステージ 4 5 月

やる気ステージ 7 8 9 月

自分から行動ステージ 10 11 12 月

つなぐステージ 1 2 3 月

## － 学習者用タブレット型端末の持ち帰りについて －

本日〔1月27日(金)〕、子供たちは学習者用タブレット型端末(以下、「タブレット」という。)とACアダプターをケースに入れて持ち帰ります。詳細につきましては、1月12日(木)に配信・配付した学校だよりNo.23を通して御確認ください。

### ＜タブレットの持ち帰りに伴う学校の対応＞



#### ①登下校時における子供たちの負担軽減を図るための取組

子供たちが、タブレットをランドセルに入れて登下校する際の負担を軽減させるため、持ち物(教科書やその他教材等)のうち、何を子供たちに持ち帰らせるか、また、何を学校に置くこととするかについて検討し、以下の通り整理しました。整理した内容には、既に学校が取り組んでいるものも含まれていますが、改めて御家庭にお伝えします。

#### 【登下校時に持ち帰る物一覧】

学年	タブレット持ち帰り時	通常時
1・2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット</li> <li>・予定帳</li> <li>・本読みカード</li> <li>・国語の教科書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教科について、原則持ち帰ります。</li> <li>※予定帳を見て、学習の準備を整える習慣を定着させたいため。</li> </ul>
3・4年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四科(国・算・理・社)については、原則持ち帰ります。</li> </ul>
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット</li> <li>・予定帳</li> <li>※本読みカード</li> <li>※国語の教科書</li> </ul> <p>(※は、持ち帰らない日があります。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※その他の教科等については、本人の希望で持ち帰ることもあります。</li> </ul>

#### ②タブレットを活用した家庭学習の取組

双葉小学校では、新学習指導要領に基づいた子供の資質・能力の育成に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るための手立ての一つとして、タブレットを取り入れた授業や活動を実践しています。子供たちは、学習や活動の見通しをもつと、その目的や課題に応じてタブレットをスムーズに操作し、調べ学習やドリル学習、プレゼンテーション資料の作成等に進んで取り組むことができるようになってきました。

このように、子供たちがタブレットの操作に慣れてきたことや、一人一人の学びをより一層充実したものになるように、2月より定期的にタブレットを活用した家庭学習にも取り組んでいきます。家庭学習は、週に1日、学年によっては1～3日程度を予定しています。

なお、タブレットを扱う機会が多くなることから、学校では、子供たちへの「情報モラル教育」

にも改めて力を入れて取り組んでいきます。以下の「情報モラル教育」の内容について、御家庭におかれましてもお子様への声掛けと見届けをよろしくお願いします。

## 一 情報モラル教育について 一

急激に変化し、将来の予測が難しい社会を生きていく子供たちにとって、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、主体的に選択し活用していく力が求められています。そのために、様々な情報端末機器は欠かせないアイテムとなっています。

その一方で、タブレットやスマートフォン、SNSが急速に普及し、その利用も低年齢化する中、子供たちには、情報や情報機器を扱う良さや危険性を理解した上で、適切かつ安全に活用していくための情報モラルも身に付けさせていく必要があります。

### ▶ 情報や情報機器を扱う上での良さ

- ◎多種多様な情報を瞬時に収集することができる。
- ◎遠方の人とも対面のコミュニケーションをとることができる。等



### ▶ 情報や情報機器を扱う上での危険性及び適切かつ安全に活用していくための指導内容とポイント

#### < 課題 >

- 悪意のあるサイトや勧誘メールなどにアクセスしてしまう危険性がある。
- 軽い気持ちから行った行為が相手を傷つけたり、また、重大な危険を招いたり、事件に巻き込まれたりする恐れがある。
- 情報がネットワークを介して瞬時に世界中に伝達され、予想しない影響を与えてしまうことがある。
- 長時間画面を見ることにより、眼疲労や眼精疲労、ドライアイ、一時的な調節機能低下などが起こる可能性がある。等



#### < 適切かつ安全に活用していくための指導内容と学ぶべきポイント >

指導内容	学ぶべきポイント
情報社会の倫理	<ul style="list-style-type: none"><li>・発信する情報に責任をもつ。</li><li>・情報社会での行動に責任をもつ。</li><li>・情報に関する自分や他者の権利を尊重する。</li></ul>
法の理解と遵守	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報社会のルールを知る。</li><li>・情報社会のマナーを守る。</li></ul>
安全への知恵	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報を正しく安全に利用する。</li><li>・健康に留意して情報機器を活用する。</li><li>・情報社会での危険な面を理解し、身を守る。</li><li>・不適切な情報を回避・対応できる。</li></ul>
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報セキュリティの基本を知り、対応できる。</li></ul>



上記の内容について、お子様と一緒に御確認ください。

## R 4 年度学校評価アンケート集計結果

浜松市立双葉小学校

昨年末には、学校評価アンケートに御協力をいただき、ありがとうございます。集計結果が出ましたのでお知らせいたします。

(4点満点)

	回答者に算出する値	児童の 平均値	教職員の 自己評価 平均値	保護者の 平均値
1	自分の夢や目標に向かってがんばっている。	3.4	3.1	2.9
2	自分から進んで運動に取り組んだり、体を動かしたりしている。	3.3	3.2	2.9
3	早寝・早起き・朝ごはんを心がけている。	3.3	2.9	3.0
4	家庭学習を忘れずに行っている。	3.5	3.0	3.1
5	明るくはっきりした声であいさつをしている。	3.3	2.8	2.9
6	いじめや差別は絶対しないようにしている。	3.5	3.0	3.4
7	学校のきまりを守って生活している。	3.4	2.7	3.3
8	授業では、「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思って取り組んでいる。	3.4	3.2	3.1
9	先生は、がんばっていることをほめてくれたり、自信をつけさせてくれたりしている。	3.5	3.5	3.0
10	やりたいことを見つけ、挑戦した。	3.7	3.0	3.4
11	学校・家庭・地域が連携・協力している。		3.3	3.0

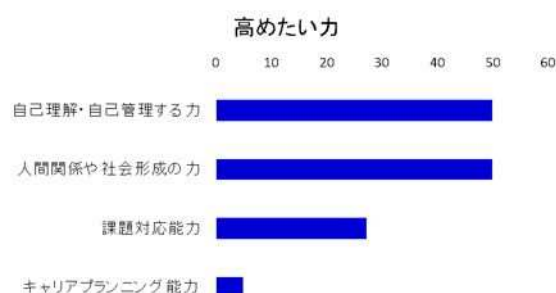
A：よくあてはまる（4点）

B：概ねあてはまる（3点）

C：あまり当てはまらない（2点）

D：当てはまらない（1点）

として平均値を出したものです。



児童の評価結果を見ると、どの項目からも自己評価が高いことが分かりました。自分なりにやりたいことを見つけ、目標に向かってがんばっている子が多いことが分かります。反面、教職員は、やりたいことに対する評価が低く、開きが見られました。今後は今以上に「挑戦しようとする姿が見られた。」と思えるように支援・指導を工夫していきたいと思えます。そして、引き続き児童が安心して過ごせる学校づくりに努めるとともに、その取り組みを便り

やブログ等でお伝えしていきます。

「高めたい力」として、保護者の皆様に答えていただいたアンケートを集計し、4つの力に分類したところ、『自己理解・自己管理する力』『人間関係や社会形成の力』の2つが多くあげられました。今後の教育活動に生かしていくとともに、来年度の教育計画においても反映させていくことができるように検討していきたいと思えます。